

編集委員

砂原 茂一
国立療養所東京病院々長

上田 敏
東京大学・中尾内科

高橋 勇
整形外科・整形外科

保田 良彦

池田 政隆

駒沢 治夫
日本理学療法士協会代表

鈴木 明子

松本 妙子
日本作業療法士協会代表

編集顧問 (五十音順)

相沢 豊三
慶応大学教授・内科

秋元 波留夫
国立武蔵療養所々長

天児 民和
九州大学教授・整形外科

飯野 三郎
東北大学教授・整形外科

大島 良雄
東京大学教授・物療内科

勝木司馬之助
九州大学教授・内科

河邨 文一郎
札幌医科大学教授・整形外科

小池 文英
整形外科護園々長

児玉 俊夫
岡山大学教授・整形外科

杉山 尚
東北大学教授・温泉研究所

椿 忠雄
新潟大学教授・脳研究施設

津山 直一
東京大学教授・整形外科

水野 祥太郎
大阪大学教授・整形外科

編集同人

井上 正吾
高茶屋病院々長

小野 啓郎
大阪大学・整形外科

佐久間 稔爾
東京大学・物療内科

中村 裕
国立別府病院・整形外科
原 武郎
九州労災病院

理学療法士

岩本 敬
大阪大学・整形外科
リハビリテーション部

遠藤 文雄
リハビリテーションセンター
七沢病院

大塚 欣壮
札幌整形外科

浜島 良知
東北労災病院

細川 忠義
長尾病院

作業療法士

宮地 昭郎
中部労災病院

矢谷 令子
九州リハビリテーション大学校

米倉 豊子
九州労災病院

あとがき

雨あがりの銀杏の新芽が街にみずみずしさを添え、見なれたたたずまいに新鮮な驚きを覚えたりします。

先日、筋ジストロフィー症の人にいろいろ話を聞く機会がありました。だんだんと筋肉の働きが冒されていくこと、この病気を治す薬も方法もないこと、そればかりか病気の進行を止めることさえできないこと……。

だけれども、おとろえていく筋肉をみすみす見過ごすことはないということです。病状に応じた理学療法、作業療法の効用を家にいるきりのこの人達に、医師が往診にいくように、PT・OT が訪問し、訓練するようなことはできないものなのか……。その人の話しには願いがもっているように思われました。(佐藤)

今号から本誌製作の担当に変わりました。社会人1年生で、東も西もわからぬ分野にとびこみましたが、一所懸命がんばりたいと思っております。(上館)

お知らせとお願い

小誌では、これから理学療法士・作業療法士の募集広告欄を設け、この欄の充実拡張を図っていくつもりです。どうぞご利用下さい。 医学書院

投稿規定

1. 投稿を歓迎いたします。研究発表および自分の工夫の発表、意見交換などの場所として大いに活用下さい。
 - i) 「研究」は本誌3頁(400字詰10枚、図表5個、ただし写真は白黒にかぎります)以内。
 - ii) 「私の工夫」: 800字以内。
 - iii) 「話題」「ニュース」: 地方の会合、研究会などに出席しての報告および感想など800字以内、写真1葉まで。
 - iv) 「質問と答え」: 治療上の質問、法律上の質問など。解答者のご指名にも応じます。400字以内。
2. i) 原稿はすべて口語体、現代かなづかいで執筆下さい。
ii) 書き方は平易簡潔にし、表・写真・図を活用して下さい。
3. 原稿掲載の採否は編集委員会で決定いたします。
4. 掲載の場合は別冊50部および掲載誌を無料で差し上げます。または規定の原稿料をさし上げます。
5. 原稿は、東京都文京区本郷5-29-11 医学書院「理学療法と作業療法」編集室宛お送り下さい。

担当・乾 佐藤 上館